

## 【「よく考えて・・・」と言うけれど】

子どもに、「よく考えて行動しましょう。」と言うことがありますが、改めて考えてみると実はこの「よく考えて」がとても難しいことなのだろうと感ずることがあります。というのは、私たちが無意識のうちに子どもたちから「考える力」を奪ってしまっているのではないかと思うからです。ここでは子どもに考える力をつける方法ではなく、その力を身につけるチャンスを奪ってしまう要因について考えてみたいと思います。

- ・なんでも周りの人間が手を出し、口を出し、子ども自身が苦勞しなくてもその子の欲求が満たされるようにしてしまう。
- ・あまりにも丁寧に物事を教え過ぎてしまい、子どもが想像する時間と機会をなくしてしまっている。

上に挙げた2点目のことについて考えてみます。私たちは、子どもが分かりやすい授業を行なうことを大きなテーマとして追求しています。ところが、それがうまくかみ合わないと、子どもが自ら考え、想像することをしなくても何となく分かったような気になってしまう授業になってしまっているのではないかと思うことがあります。「分かりやすい授業」＝「想像しない授業」になっているとしたら、それは大きな問題ですし、教員の苦勞も子どもたちの努力も報われることのないものとなっていることでしょう。子どもたちが本当の意味での学ぶ力をつけていくために、改めて「学ぶとはどういうことか」ということについて考えなければならないのではないかと考えています。

## 【マナーについて】

駆け込み乗車、さらには閉まったドアの前に立ち「開けて！」と言わんばかりの仕草。乗車したいと思っていた電車に間に合わなかったときの悔しさは多少なりとも誰もが感じたことがあるかもしれません。そんなときは、自分の力で気持ちを切り替えなければなりません。誰かに文句を言い、悔しい気持ちを何らかの行動に表しても何も変わるものではありません。日頃、子どもたちに電車やバスの中、駅構内、さらには通学路でのマナーについての話をすることがありますが、マナーを守ろうということだけでなく、自分の思い通りにならないことがあったときにどうしたらよいかを考えることができるように一人ひとりの意識を高めていかなければ、いつまでもその場だけの指導、「それはだめ、あれはだめ」ということになってしまい、子どもには「いつも自分は注意ばかりされている」という気持ちだけが強くなってしまおうでしょう。

## 【子どもの世界を読む】

毎日子どもたちと一緒に生活していると、子どもたちのことは概ね理解しているという大きな勘違いをしていますがちです。自分が小中学生だった頃のことを思い出そうとしても、思い出せるのはその頃の生活のごく一部のことです。それでも、自分の人生を振り返るには十分なほどの楽しかったこと、驚いたこと、そして叱られたことなどがあります。しかし、今小学校で生活する子どもたちは、私が自分自身のこと思い出せることの何百倍、何万倍のことがらに日々の生活で遭遇しているのです。こういうことから考えると、とても自分が子どもたちのことを理解しているなどとは言えないことが分かります。

期末休暇中に、「きみの友だち」（重松清著）を読みました。多くの方がすでに読まれているかもしれませんが、小学校の図書室にもありますので子どもも読んだことのある本かもしれません。私は、この本の著者のことは不勉強でほとんど知りませんでしたが、この夏九州大学で教鞭をとられていた北山修氏とテレビで対談されていたことからお名前を記憶していました。本屋さんでこの本を注文した際に、「この本で読書会をされる方々がいらっしゃいますよ」と教えてくれました。多くの人々に読まれていることを知り、ますます興味深く読むことができました。私たちが忘れかけていた子どもの日々の世界に起こっているのだろうと思われることが書かれており、これから自分が子どもたちに接して行く上で忘れてはいけないことも示してくれたように思います。校長室に何冊かこの本を置き、お貸しできるようにしたいと思いますので、興味がおありの方はお子さんを通してお知らせください。

## 【運動会の席取り】

小学校の運動会は、学園の第一グラウンドで行なわれます。観覧用のスタンドがあり、保護者の皆さんが運動会の全体の様子をご覧いただくことができます。また、グラウンド面で子どもたちの競技、演技をより近い所でご覧いただくこともできます。

当日は朝早くからスタンド、グラウンドの席を確保しようと多くの保護者の姿が見られます。できるだけよい場所を確保したいというお気持ちは理解できますので、私たちもお気持ちは大切にしなければなりません。運動会の案内でもお願いをいたしましたが、席を確保される場合には、お知らせいたしましたルールを守っていただき、多くの方が楽しく運動会をご覧いただけるようご協力をお願いいたします。

（このようなお願いをするにあたっては、「スタンド席を確保していてもほとんど使われない席がある・椅子を持ち込んで前列で観覧している人がいて見にくい」などの声が保護者の皆さんからありましたことをお察しいただけるとありがたいです。）